

上下水道部・会計課・議会

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	6月	4日
事務事業名	下水道維持管理事業				事業類型	施設の運営、維持管理		
担当部課G等	上下水道部 下水道課	工務・管理G	記入者氏名	助川 宏州				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						□ 実施計画対象事業
	施策名	9 効率的に生活排水を処理する						
	基本事業名	2 生活排水処理施設の維持管理						
予算科目	款	項	目	事業名	根拠法令			
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 農業集落排水処理区域(汚水処理区域)7地区(戸崎、西木倉、門部、神崎額田、戸多北部、鴻巣、酒出)の施設の維持管理を行う。				【業務内容】 ①処理施設の維持管理②管路、マンホールポンプ及び中継ポンプ場の管理③排水設備接続の宅内検査等				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
汚水処理施設(公共樹～汚水管～処理場)	点検箇所数(処理場)	箇所	6.	7.	7.	7.	7.	
	点検箇所数(中継ポンプ)	箇所	146.	167.	167.	167.	167.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
農業集落排水処理場施設の維持管理(汚泥の引抜、機器の修理、場内除草、水質検査、修繕)農業集落排水管路等施設の維持管理(管路、マンホール、中継ポンプ)	点検回数(区域箇所)×管理日数	回	2190.	2555.	2555.	2555.	2555.	
	水質検査	回	104.	116.	116.	116.	116.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
処理施設を適正に維持管理することで、施設の故障等を防止する。	修繕件数	件	22.	19.	17.	15.	13.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	86,540	127,047	137,203	137,203	137,203	0
	事業費計(A)	千円	86,540	127,047	137,203	137,203	137,203	0
人件費計(B)	千円	15,550	9,888	9,888	9,888	9,888	2,000人	
投入量(A)+(B)	千円	102,090	136,935	147,091	147,091	147,091		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	農業集落排水処理施設の供用開始に伴い機能を維持するため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	供用開始20年を超える地区も3地区あり、新規地区も進捗していることから業務は増加傾向にある。 汚水処理施設の事業運営は経営環境が厳しさを増していることから効率的な事業運営が一層求められた。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	特になし							

(4) 前回()の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費 40,507 千円) (人件費 5,662 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市は生活排水処理について適正な処理に必要な措置を講ずるよう努める必要があることから、農振区域においても公共用水域の水質改善と生活環境(衛生面)向上のために当該事業を市が行うことは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 当初の見通しに沿った成果となっていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 最適整備構想計画(長寿命化計画)を策定し、効率的に維持管理を行っていくことにより成果の向上余地がある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公共下水道事業の広域化共同化計画を検討する際に、長期的な目線で公共下水道事業との統廃合も含めて検討する。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 現時点では、施設の具体的な統廃合の計画もなく修繕箇所も精査し行っていることから、事業費及び人件費の削減余地はない。また、広域化共同化計画策定にあたり当該事業の精通者が従事する必要も生じ、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 施設の維持管理を含む汚水処理に要する経費をすべて使用料で賄うことはできないものの、使用料を汚水処理費(公費負担分を除く)で除した経費回収率は、当市の集落排水事業の状況と類似した他市町村の平均値以上であることから、直ちに受益者負担の割合が低いとは言えない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 点検結果を含め優先度の高いものから計画的に修繕を図るなど適正な維持管理に努める。また長期的には大規模な修繕費の平準化を計るため、最適整備構想計画の策定を行う。 公共下水道事業の広域化共同化計画を検討する際に、長期的な目線で公共下水道事業との統廃合も含めて検討する。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																							
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 点検結果を含め優先度の高いものから計画的に修繕を図るなど適正な維持管理に努め、光熱水費など点検し、維持管理費の縮減を図る。また長期的には大規模な修繕費の平準化を計るため、最適整備構想計画の策定を行う。 公共下水道事業の広域化共同化計画を検討する際に、長期的な視点で公共下水道事業との統廃合も含めて検討する。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	6月	4日
事務事業名	下水道管路整備事業				事業類型	委託・補償・工事		
担当部課G等	上下水道部 下水道課	工務・管理G	記入者氏名	助川 宏州				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						□ 実施計画対象事業
	施策名	9 効率的に生活排水を処理する						
	基本事業名	1 生活排水処理施設の整備						
予算科目	款	項	目	事業名	根拠法令	下水道法・都市計画法		
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 河川・水路等の公共用水域の水質改善と生活環境(衛生面)の向上のため下水道の整備を行う。				【業務内容】 汚水処理施設(公共下水道)の整備 実施設計・工事設計を作成し発注 委託・工事の監督				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
公共下水道を計画している区域	全体計画区域面積	ha	3257.8	3257.8	3257.8	3257.8	3257.8
	認可区域面積	ha	1710.6	1710.6	1710.6	1710.6	1710.6
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
管路施設工事の実施 実施施設業務委託・工事の実施	整備面積(累計)	ha	1386.	1409.	1449.	1489.	1529.
	整備延長(当該年度)	m	4960.	4955.	6000.	6000.	6000.
	整備延長(累計)	m	244767.	249722.	255722.	261722.	267722.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
供用区域を増やしていくことで、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上と公共用水域の水質保を図る。	整備率	%	81.1	82.4	84.7	87.	89.4
	汚水処理人口普及率	%	83.3	84.9	87.3	88.8	90.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	228,822	225,000	250,000	250,000	250,000
	県支出金	千円	1,500	1,000	500	500	500
	地方債	千円	485,300	470,300	527,800	509,000	509,000
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	62,715	98,914	102,371	89,005	89,005
	事業費計(A)	千円	778,337	795,214	880,671	848,505	848,505
人件費計(B)	千円	15,550	3,000	20,040	4,000	20,040	4,000
投入量(A)+(B)	千円	793,887	815,254	900,711	868,545	868,545	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	人口の増加とともに、市街化をはじめとする区域での生活排水処理の改善、水環境の保全を図ることが必要となったため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	R8年に汚水処理人口普及率95%を目標に掲げられている。また、広域化共同化計画をR4年度までに策定することがR5以降の補助金の交付要件と示された。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	平成30年3月には産業建設常任委員会より整備コスト及び効率の観点から、公共下水道以外の手法も研究する様に要望書が提出されたことから、令和2年度に公共下水道全体計画見直し方針を策定した。						

(4) 前回()の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) <p>人口減少や少子高齢化の進行など、下水道をめぐる社会情勢は変化しており、効率化かつ持続可能な事業運営のための総合的な取り組みが重要となっているため、公共下水道、農業集落排水、浄化槽の役割分担を定め、市の事情に応じた「公共下水道全体計画」の見直し方針を策定した。</p>	(見直し内容に関する予算への反映) <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: right;">16,877</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: right;">4,490</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 反映なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費)	16,877	千円	(人件費)	4,490	千円	<input type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円																
(人件費)	0	千円																
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費)	16,877	千円																
(人件費)	4,490	千円																
<input type="checkbox"/> 反映なし																		

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <p>下水道法第3条に基づき、公共下水道の設置等を市が行うことは妥当である。</p>
有効性評価	② 成果の向上余地 <ul style="list-style-type: none"> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ 	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <p>市街化調整区域における整備手法を見直すことで、整備コストを下げられ整備期間を短縮できる。</p>
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <p>生活排水処理方法には、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の3つの方法があるが公共下水道事業が他事業を統合することはあっても、統合されることはないため廃止は考えられない。</p>
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <ul style="list-style-type: none"> ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <p>市民からの整備要望が非常に高い事業でもありながらも、整備コストの問題もあり整備率は非常に低い状況ではあるが、適切な生活排水処理を行うためにも事業費を削減できる余地はなく、整備を加速するためにも人件費を削減する余地はない。</p>
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <ul style="list-style-type: none"> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない <p>下水道の建設費より負担区域毎に設定されており、適正な負担割合となっている。</p>

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 現状農地における公共汚水樹の深さを見直し整備コストを抑える、前年比における整備延長を2割増すことで、供用開始区域を増やし汚水処理人口普及率の向上を進める。

改革・改善による期待成果

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)
 現設計を検証・点検して設計を見直し、建設コストを抑えることにより効率性の改善を図り、整備期間の短縮を図る。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	6月	4日			
事務事業名	浄化槽設置補助事業				事業類型	補助金	点検日				
担当部課G等	上下水道部 下水道課	工務・管理G	記入者氏名	助川 宏州							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	9 効率的に生活排水を処理する									
	基本事業名	1 生活排水処理施設の整備									
予算科目	一般会計	款	04	項	01	目	04	事業名	浄化槽設置補助事業	根拠法令	浄化槽法、那珂市浄化槽設置事業等補助金交付要綱
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 浄化槽を設置することで、環境保全及び水質汚濁の防止を目的とする。設置費の一部を補助。 合併処理浄化槽を転換する市民に対し、補助金を交付することで、経済的負担を軽減し、普及促進を図る。						【業務内容】 県へ浄化槽設置事業費等補助金の申請を行う。 市民より浄化槽設置事業等補助金交付申請の受付を行い書類と現地の確認し交付決定を申請者へ通知する。 浄化槽設置完了届を受け検査し合格後、請求に基づき支払を行う。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
公共下水道認可区域及び農業集落排水事業区域を除いた区域の世帯	未整備世帯	世帯	3417.	3286.	3141.	2996.	2851.	
	設置基数	基	80.	130.	145.	145.	145.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
・補助申請に基づく、審査・検査・支払等事務。 ・合併処理浄化槽への転換に対する周知啓発。	設置基数	基	80.	130.	145.	145.	145.	
	うち 単独転換基数	基	20.	53.	90.	90.	90.	
	補助金額	千円	32593.	60769.	77236.	77236.	77236.	
	広報	件	2.	2.	2.	2.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
補助事業により浄化槽設置を促進することで、生活排水の浄化を図り、公共用水域の汚染を防止する。	汚水処理人口普及率	%	83.3	84.9	87.3	88.8	90.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	10,058	16,283	22,080	22,080	22,080	0
	県支出金	千円	9,360	13,374	17,880	17,880	17,880	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	13,175	31,112	37,276	37,568	37,568	0
	事業費計(A)	千円	32,593	60,769	77,236	77,528	77,528	0
人件費計(B)	千円	4,580	5,630	5,630	5,630	5,630		
			0.80人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
投入量(A)+(B)	千円	37,173	66,399	82,866	83,158	83,158		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	生活排水処理の改善、公共用水域の水質保全を図るうえで、公共下水道事業計画区域外や農業集落排水事業区域外の地域における生活排水処理対策も必要であるため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか)変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?	国・県の汚水処理人口普及率95%(R8)目標。国と県も令和元年度より単独浄化槽から合併浄化槽への転換(単独転換)に関する宅内配管工事の助成制度が新設された。一方で合併浄化槽の更新への助成制度は廃止された。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	公共下水道の全体計画区域内においては、公共下水道整備に長い年月と多額の事業費を要することから、汚水処理方法を合併浄化槽等への転換基数を増やすことを要求された。							

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加(事業費 28,176 千円) (人件費 1,050 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市は生活排水処理について適正な処理に必要な措置を講ずるよう努める必要があるなか、合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することにより、市民の経済的な負担を軽減し浄化槽の普及促進を図り、水質汚濁の防止及び環境保全に寄与することが出来るため。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 単独処理槽や汲み取り槽からの更なる転換を加速するため、令和3年度より市独自補助を拡充・上乘せすることで、汚水処理人口普及率の向上が見込める。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公共下水道事業認可区域の整備には時間を要することから、汚水処理人口普及率向上のためには、公共下水道未計画地区における合併処理浄化槽への転換が必要不可欠である。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公共下水道全体計画見直しにより合併処理浄化槽区域となった方々の生活排水処理が適切に行えるためにも合併処理浄化槽補助事業費の削減余地はない。 必要最小限人数で従事していることから人件費削減の余地はない。また、補助申請は不定期でもあることから民間委託の必要はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 受益者の負担割合は事業費の3分の2を想定しており、近隣市町村と比較しても大きな差異はないため適正であると考えている。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 令和8年度末には汚水処理人口普及率が92%を超える目標を掲げ、単独処理槽や汲み取り槽からの転換を推進すると同時に、令和3年度から市独自補助を拡充・上乘せすることで更なる転換を加速させる。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																					
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 令和8年度末には汚水処理人口普及率が92%を超える目標を掲げ、単独処理槽や汲み取り槽からの転換を推進すると同時に、令和3年度から市独自補助を拡充・上乘せすることで更なる転換を加速させる。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	28日			
事務事業名	農業集落排水整備事業費				事業類型	繰出金					
担当部課G等	上下水道部 下水道課	業務グループ	記入者氏名	鈴木 智洋							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	9 効率的に生活排水を処理する									
	基本事業名	1 生活排水処理施設の整備									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	07	事業名	農業集落排水整備事業費	根拠法令	地方公営企業法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 地方公営企業法等に定める経営に関する基本原則を堅持しながら、地方公営企業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化するため、繰出しを行う。						【業務内容】 各年度の起債償還額等により繰出額を算定し、年3回に分けて繰出金(負担金、補助金)を支出する。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
農業集落排水整備事業	事業数	事業	0	1	1	1	1
			0	0	0	0	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
農業集落排水整備事業への繰出しを行う。	基準内繰出額	千円	0	246253	242072	241921	240780
	基準外繰出額	千円	0	46017	42036	30320	25706
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
農業集落排水整備事業の経常損益の黒字化	経常損益	千円	0	35480	23322	21014	15667
	期末現金預金残高	千円	0	184446	207318	192500	185500
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
(2)投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	292,270	284,108	272,241	266,486
	事業費計(A)	千円	0	292,270	284,108	272,241	266,486
	人件費計(B)	千円	0	0.00人	74	0.01人	74
投入量(A)+(B)	千円	0	292,344	284,182	272,315	266,560	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	令和2年度より地方公営企業法の適用を受け、同法17条の2により一般会計の負担とされたため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	地方公営企業法適用初年度のため変化なし。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	特になし						

(4) 前回()の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p>目的妥当性評価</p> <p>① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p>■ 妥当である □ 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>企業債の元利償還額等については繰出基準に基づき、繰出が認められており、収支不足額についても基準外繰出として補助している。</p>
<p>有効性評価</p> <p>② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？</p>	<p>■ 余地がない □ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>繰出基準に基づき繰出をしているので、成果の向上余地はない。</p>
<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p>■ 統廃合の余地がない □ 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 廃止・休止の可能性がない □ 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>事業ごとに繰出をする必要があるため、統廃合の余地はない。 廃止した場合には、事業の赤字が見込まれるため、廃止・休止の可能性はない。</p>
<p>効率性評価</p> <p>④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p>□ 事業費の削減余地がない ■ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 人件費の削減余地がない □ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>接続率向上による使用料収入の増加と維持管理費等の縮減に努める。 人件費については、必要最低限で計上している。</p>
<p>公平性評価</p> <p>⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めている事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p>□ 適正である □ 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>■ 受益者負担を求めている事業ではない</p> <p>企業債の元利償還額等を基に計算されているため、受益者負担を求めている事業ではない。</p>

3 計画の部(PPLAN)

<p>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 ■ 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</p> <p>改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 接続率向上による使用料収入の増加と維持管理費等の縮減に努める。</p>	<p>改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下			×																		
<p>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 ■ 継続 (■ 見直し □ 現状維持)</p> <p>改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 接続率向上による使用料収入の増加と、施設の適正管理によるさらなる維持管理費等の縮減に努める。</p>																						
<p>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 □ 継続 (□ 見直し □ 現状維持)</p>																						
<p>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 □ 継続 (□ 見直し □ 現状維持)</p>																						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	28日			
事務事業名	公共下水道事業費				事業類型	繰出金					
担当部課G等	上下水道部 下水道課	業務グループ	記入者氏名	鈴木 智洋							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	9 効率的に生活排水を処理する									
	基本事業名	1 生活排水処理施設の整備									
予算科目	一般会計	款	07	項	03	目	04	事業名	公共下水道事業費	根拠法令	地方公営企業法
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 地方公営企業法等に定める経営に関する基本原則を堅持しながら、地方公営企業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化するため、繰出しを行う。						【業務内容】 各年度の起債償還額等により繰出額を算定し、年3回に分けて繰出金(負担金、補助金)を支出する。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
公共下水道事業	事業数	事業	0.	1.	1.	1.	1.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
公共下水道事業への操出を行う。	基準内繰出額	千円	0.	636410.	564712.	579928.	593321.		
	基準外繰出額	千円	0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
公共下水道事業の経常損益の黒字化	経常損益	千円	0.	260729.	158066.	181536.	197495.		
	期末現金預金残高	千円	0.	420587.	363583.	357500.	344500.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費		
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	636,410	605,892	617,759	623,514	0	
	事業費計(A)	千円	0	636,410	605,892	617,759	623,514	0	
人件費計(B)	千円	0	0.00人	74	0.01人	74	0.01人	74	0.01人
投入量(A)+(B)	千円	0	636,484	605,966	617,833	623,588			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	令和2年度より地方公営企業法の適用を受け、同法第17条の2により一般会計の負担とされたため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	地方公営企業法適用初年度のため変化なし。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	特になし								

(4) 前回()の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td></tr> <tr><td>千円</td></tr> </table>) (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td></tr> <tr><td>千円</td></tr> </table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td></tr> <tr><td>千円</td></tr> </table>) (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>0</td></tr> <tr><td>千円</td></tr> </table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0										
千円										
0										
千円										
0										
千円										
0										
千円										

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないが、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 適正な使用料としてもなお不足する分については、総務省通知の繰出基準に基づき、繰出が認められている。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	■ 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 繰出基準に基づき繰出をしているので、成果の向上余地はない。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業ごとに繰出をする必要があるため、統廃合の余地はない。 廃止した場合には、事業の赤字が見込まれるため、廃止・休止の可能性はない。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 接続率向上による使用料収入の増加と維持管理費等の縮減に努める。 人件費については、必要最低限で計上している。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 企業債の元利償還額等を基に計算されているため、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → [<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善] [<input type="checkbox"/> 公平性の改善] <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
	改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 接続率向上による使用料収入の増加と維持管理費等の縮減に努める。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下			×																			
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																						
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
	改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 接続率向上による使用料収入の増加と維持管理費等の縮減に努める。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																							
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																							
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	28日
事務事業名	水道料金賦課徴収事務			事業類型	事務の推進			
担当部課G等	上下水道部	水道課	総務グループ	記入者氏名	郡司 純子			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						□ 実施計画 対象事業
	施策名	8 安定的に水道水を供給する						
	基本事業名	1 水道水の安定供給						
予算科目	款	項	目	事業名	根拠法令	水道法		
事業期間	□ 単年度のみ			■ 単年度繰返 (開始年度 昭和49年度～)		□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 窓口、水道料金等の賦課徴収全般(開閉栓、検針等を含む)の業務の業務管理を行う。				【業務内容】 水道料金に関する賦課及び徴収業務 開栓業務、閉栓及び清算業務、使用量検針業務、 納付書発行業務、口座振替業務、 収納管理業務(消込・還付・充当)、 未収金回収業務(給水停止含)、量水器交換(購入含)他				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
水道利用世帯(常住人口を基とした世帯数、経営戦略による。)	水道利用世帯数	世帯	19684.	19969.	20228.	20235.	20182.	
	水道普及率	%	99.36	99.37	99.5	99.5	99.6	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
水道開閉栓、2ヶ月毎に使用水量検針を行い水道料金の賦課徴収を行う。納期限内に納付が無い者には、未収金回収を行い納付指導、給水停止を行う。	使用水量により算出された水道料金	百万円	1088.04	1127.95	1047.52	1040.08	1036.57	
	開閉栓件数	件	3741.	3408.	3400.	3300.	3300.	
	未収金回収訪問件数	件	1157.	776.	700.	700.	700.	
	給水停止件数	件	114.	101.	100.	100.	100.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
水道料金の期間内納付の促進を行うことにより、安定した収入を得、安全な水の安定供給を行う。	水道料金収納率	%	96.6	96.8	96.8	96.8	96.8	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	51,474	79,173	65,629	61,713	61,713	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	51,474	79,173	65,629	61,713	61,713	0
人件費計(B)	千円	1,180	1,180	1,180	1,180	1,180	0.20人	0.20人
投入量(A)+(B)	千円	52,654	80,353	66,809	62,893	62,893		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	水道事業を開始したことに伴い、水道料金を徴収することとなったため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	人口は減少しているが、水道利用世帯数は増加している。これにより少人数世帯の水道使用が増え、基本料金収入が増えていると考えられる。また、水道料金は平成9年に現状の金額となり、以降の値上げは行っていない。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	隣接市町村と比較し、水道料金が高いとの意見がある。							

(4) 前回(令和元年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み															
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)												
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	令和3年2月よりスマホ決済の納付方法を導入し、納付機会の拡充を行った。2月、3月で115件の納付があり、わずかだが収納率も上がった。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> </table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr> </table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円														
0	千円														
0	千円														
0	千円														
0	千円														
0	千円														

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 水道事業は、水道法に「原則として市町村が経営するものとする」とある。その他の経営方法として、広域的水道整備を行う方法があるが、当市を含む近隣市町村においては、その計画がないため、市が当事業を行うことが妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 年度末にスマホ決済等を導入したが、まだ若い世代しか活用されていないため、幅広い世代に活用してもらえるよう案内し、収納率を上げていく余地はある。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 水道は地方公営企業法により行っているため、市において、現在、統廃合できる事業はない。下水道事業とも、債権が違うことから、情報の利活用の面において法的に問題が発生するため、統廃合は難しい。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 賦課徴収業務と水道料金システムが同一業者となり、どちらも競争入札により落札しているため、事業費、人件費ともに削減の余地がない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 水道事業の運営にかかわる財源は、水道使用量に応じた水道料金で賄っており、受益者負担については適正である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 料金未納者に対して更なる納付指導や給水停止の強化を図り、未納を減らして収納率を上げていくよう努めていく。また、督促状などの一律的な対応で納付に至らない者に対しては、使用状況等を調査し、その者に効果的な対応をすることによって納付に繋がるよう努めていく。加えて、検針の際に発見した漏水についても、個人に早急な対応をしてもらうよう呼びかけ、適正な賦課を行う。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	※担当部長が記載																					
改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 料金未納者に対して更なる納付指導や給水停止の強化を図り、未納を減らして収納率を上げていくよう努めていく。また、督促状などの一律的な対応で納付に至らない者に対しては、使用状況等を調査し、その者に効果的な対応をすることによって納付に繋がるよう努めていく。加えて、検針の際に発見した漏水についても、個人に早急な対応をしてもらうよう呼びかけ、適正な賦課を行う。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	31日
事務事業名	浄水関連施設管理事業				事業類型	施設の維持管理		
担当部課G等	上下水道部 水道課	工務・管理グループ	記入者氏名	飯田 健一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						□ 実施計画対象事業
	施策名	8 安定的に水道水を供給する						
	基本事業名	1 水道水の安定供給						
予算科目	款	項	目	事業名	根拠法令			
事業期間	□ 単年度のみ			■ 単年度繰返 (開始年度 昭和49年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 浄水場施設において安全な水をつくり、安定した水の供給ができるよう施設の維持管理を行う。				【業務内容】 施設の点検・清掃・修繕等				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
浄配水施設	関連施設の数	箇所	9.	9.	9.	9.	8.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
施設の点検・清掃・修繕の実施	点検清掃業務数	件	25.	20.	18.	18.	18.	
	修繕業務件数	件	13.	14.	10.	10.	10.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
施設が正常に稼働するように維持管理を行い、安全な水を安定して供給することにより、快適な生活をしてもらう。 (普及率:常住人口を基とした、経営戦略による数値)	浄水施設が要因となる断水等の件数	件	0.	0.	0.	0.	0.	
	水道普及率	%	99.36	99.37	99.5	99.5	99.6	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	157,322	136,523	148,127	148,000	148,000	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	157,322	136,523	148,127	148,000	148,000	0
人件費計(B)	千円	7,794	7,710	7,750	7,750	7,750		
		1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人		
投入量(A)+(B)	千円	165,116	144,233	155,877	155,750	155,750		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	取水場及び浄水場の施設が建設され稼働するに伴い、安定供給のための施設管理の業務が開始された。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	全体的に施設の老朽化が進んでいる。 平成27年～令和4年の計画で瓜連浄水場を木崎浄水場に統合する形で更新工事を実施中である。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	安心安全な水道水の供給が求められている。							

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート		作成日	令和3年5月31日	点検日				
事務事業名	配水管網整備事業			事業類型	施設の整備改修					
担当部課G等	上下水道部 水道課	工務・管理グループ		記入者氏名	飯田 健一					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり					□ 実施計画対象事業			
	施策名	8 安定的に水道水を供給する								
	基本事業名	1 水道水の安定供給								
予算科目	款	項	目	事業名	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和49年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)									
事業概要										
【全体概要】 基幹管路(導水管・配水管・配水本管)の総延長は約540km。うち40年を経過した配水管としては約78km。このような配水管については、道路拡幅工事等に伴い布設替えをすることにより耐震化を図る。老朽管更新については、国県道、JR水郡線横断部に埋設されている鋼管の布設替えを優先的に行い耐震化を図る。また、老朽化が著しい消火栓の更新も進める。				【業務内容】 老朽化した配水管の更新。効率的に水を供給するために新たな配水管網を耐震化整備する。						
1 現状把握の部(DOシート)										
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
配水管				配水管総延長	m	483921.	486161.	489321.	492321.	494521.
				石綿管残延長	m	1909.	749.	263.	201.	105.
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
新設管布設及び老朽管の更新の実施(那珂市水道事業第2次基本計画に基づく)				新設管布設延長	m	5151.	3073.	3160.	3000.	2200.
				老朽管更新延長	m	3002.	1743.	800.	1000.	1000.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
安全な水を安定供給することにより快適な生活をしてもらう。(新設管進捗率:H29より第2次基本計画による数値)				配水管網整備計画の進捗率(新設管)	%	24.9	27.6	27.6	80.5	89.1
				配水管網整備計画の進捗率(石綿管更新)	%	97.5	99.	99.6	99.7	99.8
				公道上の漏水事故件数	件	24.	38.	24.	20.	18.
				耐震化率	%	16.3	19.2	19.7	20.2	20.9
(2)投入量の推移				単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	100,000	59,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0	
	その他	千円	186,092	160,763	152,352	80,751	80,080	0	0	
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	286,092	219,763	352,352	280,751	280,080	0	0	
人件費計(B)	千円	19,274	3,000	19,230	3,000	19,200	3,000	19,200	3,000	
投入量(A)+(B)	千円	305,366	238,993	371,552	299,951	299,280				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ				事業当初に整備された配水管の維持管理の問題解消及び給水件数の増に対応するため配水管網整備が必要となったため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)				水道普及率は99%を超えており、今後重要となる課題として配水管の整備・更新に合わせ管路の耐震化を行う必要がある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)				石綿管及び老朽管の整備更新に関する問い合わせがある。						

(4) 前回(令和元年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <ul style="list-style-type: none"> ・優先度の高い未整備地区・道路拡幅に伴う未整備地区の新設配水管布設、主要道路・JRの横断管等の老朽管更新工事を行い管路の耐震化を図った。 ・漏水調査を行い、漏水管の修繕を行った。 これらにより有収率を向上させた。	(見直し内容に関する予算への反映) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">□ 削減 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">□ 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	□ 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	□ 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
□ 削減 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
□ 増加 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 水道事業は、水道法により市町村による経営が原則のため。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂市水道事業第2次基本計画や漏水調査の結果等を踏まえ、優先度の高い箇所から耐震化を進め、更なる成果の向上を図る。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。 配水管網整備を行わない場合、漏水などにより安全で安定した水の供給ができなくなるため廃止・休止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 継続的に配水管網整備を行うことにより耐震化の向上を図り、安全で安定した水の供給ができるため、事業費の削減余地はない。 成果を維持するためには、これ以上の人件費削減はできない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 水道事業は水道使用料金収入により運営されており、水道使用料金に基づいた負担となっていることから適切である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 公平性の改善 → <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) <ul style="list-style-type: none"> ・優先度の高い未整備地区・道路拡幅に伴う未整備地区の新設配水管布設、主要道路の横断管や重要施設である病院等の老朽管更新工事を行い管路の耐震化を図る。 ・漏水調査により確認された漏水管の修繕を行い、有収率の向上及び安全で安定した水の供給を図る。 	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) <ul style="list-style-type: none"> ・優先度の高い未整備地区・道路拡幅に伴う未整備地区の新設配水管布設、主要道路の横断管や重要施設である病院等の老朽管更新工事を行い管路の耐震化を図る。 ・漏水調査により確認された漏水管の修繕を行い、有収率の向上及び安全で安定した水の供給を図る。 																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 																						

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	31日
事務事業名	浄水場等更新事業				事業類型	施設の整備改修		
担当部課G等	上下水道部 水道課	工務・管理グループ	記入者氏名	飯田 健一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						□ 実施計画対象事業
	施策名	8 安定的に水道水を供給する						
	基本事業名	1 水道水の安定供給						
予算科目	款	項	目	事業名	根拠法令			
事業期間	□ 単年度のみ		□ 単年度繰返(開始年度 年度～)		■ 期間限定複数年度(平成25年度～令和4年度)			
事業概要								
【全体概要】 那珂市水道事業は、那珂川・久慈川の両河川と地下水を水源として浄水し、配水を行っている。水道事業が創設して以来49年が経過し、木崎・瓜連浄水場において老朽化が進んでいることから、浄水施設維持管理費のコスト削減を図るため、瓜連浄水場を廃止し木崎浄水場へ統合更新するものである。				【業務内容】 現施設の一部改修と新しい施設の耐震化整備				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
更新対象の浄水場	更新対象の浄水場数	箇所	2	2	2	2	0
			0	0	0	0	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
現施設の一部改修と新しい施設の耐震化整備	整備実施の施設数	箇所	1	1	1	1	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
施設の安定した稼働が確保され、安全な水道水を供給できる。	事業進捗率(計画総事業費に対して)	%	50.2	57.4	77.9	100	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
(2) 投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	23,413
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	480,000	572,000	1,000,000	1,100,000	4,552,000
	その他	千円	54,055	62,295	118,039	105,282	794,372
	一般財源	千円	0	0	0	0	78,400
	事業費計(A)	千円	534,055	634,295	1,118,039	1,205,282	5,448,185
人件費計(B)	千円	7,794	7,710	7,750	7,750	0	
	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人	0	0.00人	
投入量(A)+(B)	千円	541,849	642,005	1,125,789	1,213,032	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	瓜連浄水場・木崎浄水場は、耐用年数が過ぎ老朽化が進み施設機能が低下している。今回の浄水場更新事業において統合を行い、施設の維持管理を一元化し安定した浄水場機能を確保するために事業が開始された。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	計画通りに更新工事が進捗している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	老朽化した施設の改修・改善が求められている。						

(4) 前回(令和元年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) ・施設の施工方法等の再検討や、単年度発注を継続費にするなど事業費の平準化を図った。 ・機械類や設備類の仕様等の再検討を行いコスト削減を考慮しながら整備を行った。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円										
0	千円										
0	千円										
0	千円										

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 水道事業は、水道法により市町村による経営が原則のため。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 整備計画をより綿密に精査することで、施設の施工方法や機械類の仕様等を再確認し、更なる成果の向上を図る。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、安全で安心した水の供給をするためには廃止・休止はできない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 当初計画の機械類や設備類の仕様等の再検討を行い事業費削減を目指す余地がある。現施設の維持管理と更新事業を同時に進めなくてはならないため、人件費の削減はできない。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 水道事業は水道料金収入により運営されており、浄水場更新事業についても水道料金収入により行われているため適切である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 ・施設の施工方法等の再検討や単年度発注を継続費にするなど、事業費の平準化を図る。
 ・機械類や設備類の仕様等の再検討を行いコスト削減を考慮しながら進める。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下			×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 ・施設の施工方法等の再検討や単年度発注を継続費にするなど、事業費の平準化を図る。
 ・機械類や設備類の仕様等の再検討を行いコスト削減を考慮しながら進める。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	6月	1日
事務事業名	会計事務費				事業類型	総務事務	点検日	
担当部課G等	会計課	出納G	記入者氏名	鈴木 良一				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第6章 行財政改革の推進による自立したまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	2 健全な財政運営を図る						
	基本事業名	3 公有財産の適正管理と有効活用						
予算科目	一般会計	款 02	項 01	目 04	事業名 会計事務費	根拠法令	地方自治法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 適正な会計事務の執行、公金の管理と運営					【業務内容】 ・各課の収入、支出に伴う伝票の審査及び処理 ・現金や財産の記録及び管理 ・共通物品の注文集計及び発注			

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (見込)	04年度 (計画)	05年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
公金全体		収入・支出件数	件	715581.	612901.	613000.	613000.	613000.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
各課の収入と支払いに伴う伝票の審査及び決算事務、各課の共通物品の注文集計並びに発注業務		収入件数	件	683088.	583746.	584000.	584000.	584000.	0.	0.
		支出件数	件	32493.	29155.	29000.	29000.	29000.	0.	0.
		審査件数	件	715581.	612901.	613000.	613000.	613000.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
正確で迅速かつ効率的に収入及び支出を行うことにより公金の適正な管理がなされ、市民の市政に対する信頼と安心感が得られる。		一人当たりの審査件数	件/人	143116.	153225.	153250.	153250.	153250.	0.	0.
		一人当たりの出納処理件数	件/人	143116.	153225.	153250.	153250.	153250.	0.	0.
		行政サービスに対する市民満足度	%	68.47	71.86	71.	71.	71.	0.	0.
(2) 投入量の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費		
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	4,067	2,641	4,083	4,383	4,097	0		
	事業費計(A)	千円	4,067	2,641	4,083	4,383	4,097	0		
人件費計(B)	千円	31,600	5.00人	33,500	6.00人	33,500	6.00人	33,500	6.00人	
投入量(A)+(B)	千円	35,667		36,141		37,583		37,883		37,597
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		地方財務会計制度による。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		平成28年度から従来固定していた指定金融機関を3年ごとの輪番制とした。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		指定金融機関から税金等の納付書による収納の有料化。								

(4)前回(令和元年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の公金出納事務を適正に行うため。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公金の収入・支出の管理は適正に行われている。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性もある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がない。廃止・休止により各課が個別に出納事務を行った場合、事務が煩雑になり効率的でないばかりか、迅速・正確性などに支障が出る。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公金扱いについて、効率的な業務の遂行と安全のために金融機関を指定し、公金扱い業務を委託しており、事業費削減の余地はない。人件費については、会計管理者が課長を兼務、総括補佐がグループ長を兼務し正職員5名で業務を行っており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市の会計管理であるため、市民全体が受益者である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 ↓ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	

評価対象年度	令和2年度	事務事業評価シート			作成日	令和3年	5月	27日			
事務事業名	議会広報事業				事業類型	広報紙発行	点検日				
担当部課G等	議会事務局	総務・議事グループ	記入者氏名	大内 秀幸							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第1章 みんなで進める住みよいまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	3 市民との協働によるまちづくりを推進する									
	基本事業名	3 情報の発信と共有									
予算科目	一般会計	款	01	項	01	目	01	事業名	議会広報事業	根拠法令	那珂市議会基本条例、那珂市議会広報発行要項
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 議会の定例会の内容や、議会の活動を市民に周知することにより、議会や市政に対する関心を高めることを目的とする						【業務内容】 「那珂市議会だより」の発行(年4回20ページ程度)					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民	市民	人	54772.	54523.	52800.	52500.	52300.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
広報誌の発行 年4回発行	広報誌発行回数	回	4.	4.	4.	4.	4.	
	広報編集委員会開催回数	回	18.	18.	18.	18.	18.	
	広報取材回数	回	4.	0.	4.	4.	4.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市議会で行われている審議内容や改革について、広く市民に周知することにより、市政に関心をもち、議会を身近に感じてもらう	議会傍聴者数	人	357.	226.	300.	300.	300.	
	議会報告会参加者数	人	30.	0.	50.	50.	50.	
	議会トップページアクセス数	件	7155.	5633.	10000.	10000.	10000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	01年度(実績)	02年度(実績)	03年度(見込)	04年度(計画)	05年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	955	1,170	1,204	1,413	1,413	0
	事業費計(A)	千円	955	1,170	1,204	1,413	1,413	0
人件費計(B)	千円	1,720	1,760	1,760	1,760	1,760		
		0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	0.40人		
投入量(A)+(B)	千円	2,675	2,930	2,964	3,173	3,173		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	市議会の定例会の内容や議会活動について、市民に広く情報を提供し、市民の理解を深めるため議会だよりの発行を始めた。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	情報化が進み、ホームページ・SNS等多様な情報発信方法が求められている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	若い世代の興味を引く内容が掲載されているとよい、という意見がある。							

(4) 前回(平成30年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 市民に親しみやすい議会を目指し、議会の仕組みを紹介した冊子「ぎかいのおはなし」を作成し、市民に興味を持ってもらうため図書館やコミセンなどにも配布した。また、学校の教材として使ってもらうため、議会の学習をする小学6年生、中学3年生には全員に配布した。	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的妥当性評価	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市議会の審議結果や一般質問、委員会活動等を広報するものであり、市が行うべきものである。
有効性評価	<input type="checkbox"/> ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 議会広報紙は、全戸配布及び市の施設、コンビニ等に置いてもらうなど市民に見てもらえるよう広く広報している。今回、別冊で「ぎかいのおはなし」を作成し、幅広い年代の市民に分かりやすい内容で作成した。今後も市民に親しみやすい議会を目指し、広報編集委員会で企画立案を行っていく。
評価	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の「広報なか」との類似する部分ではあるが、年4回の発行であること、編集主体が議会広報編集委員会で議員名などを掲載していることから、市の広報紙と統合は難しい。広報紙は「開かれた議会」を目指すため、廃止・休止はできない。
効率性評価	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 広報紙の印刷は入札により行われており、印刷部数を減らすなどの削減は難しい。人件費についても必要最小限の人件費で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	<input type="checkbox"/> ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 市議会の審査結果等の情報を市民に広報するためのものであり、受益者負担を求めない。

3 計画の部(PPLAN)																								
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 紙面の内容については市民にもっとわかりやすいものに改善していくことが可能と考える。今後は議会広報委員会において、親しみやすい紙面づくりに邁進し、どの年代からも手に取ってもらえるような広報紙を作成していく。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 議会広報によって、議会の内容を正確にわかりやすく伝えることは、たいへん難しい。紙面作成も一般質問など政治的な配慮もあるし、高いスキルが求められる。目標とする市民への情報提供の満足度も把握が困難である。今後は、記事の内容や広報手段(SNSなど)についても考える余地がたくさんあると思う。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								